

平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	交通弱者等の移動可能性に関する調査研究		担当部局庁	国土交通政策研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H23/H24		担当課室	-		研究調整官 松永 康司		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 30 社会資本整備・管理等を効果的に推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	交通は人々の移動に不可欠であり、様々な活動の基礎となっている。しかし、バスや鉄道等の利用者数は減少が続き、少子高齢化・人口減少社会を迎え、ますます公共交通の確保は厳しい状況となると考えられ、自家用車を利用できない人々にとって移動が困難となる状況が考えられる。このため、今後の地域交通政策の検討に資するよう、客観的なデータに基づく移動可能性に関する指標(移動のしやすさ指標)の作成とこれを活用した分析手法の作成等を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本調査研究は、買物、医療、教育等の人々の日常生活を対象として、居住地(出発地)から生活に必要な活動を行う場所(目的地)までの交通アクセスのしやすさについて、移動可能性に関する指標を作成するとともに、この指標を活用して地域交通や地域づくりに関する分析方法を提案し、我が国で人口減少・高齢化が急速に進行する中で、地域の人々の暮らしの視点に立った国土交通政策の検討に資する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	-	23	18	-	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
	計	-	23	18	-	-		
	執行額	-	22	18	-	-		
執行率(%)	-	95.7%	98.4%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (24年度)	
	調査検討の報告数		成果実績	件	-	0	1	1
			達成度	%	-	0%	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	調査検討の報告数		活動実績 (当初見込み)	件	-	0	1	-
					(-)	(0)	(1)	(-)
単位当たりコスト	18(百万円/件)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
				平成24年度限りで廃止することとされた事業であるため。				
	計	-	-					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	現下の情勢にかんがみ、国土交通行政に関する喫緊の課題を対象としたものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	契約の相手方を特定する際に、企画提案方式を取り入れることで競争性を確保している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	事業の目的に照らして適切に活動しており、その結果終了年度において一定の成果を得ることができた。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	研究内容の重点化・事業効率・コスト等の観点からも適切に執行している。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	新23-1041	平成24年	0420

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通政策研究所
18百万円

研究全般、総合調整、予算の執行管理、業務発注等を行う。



【企画競争】

A. 民間企業(3社)
16百万円

現状分析調査、ヒアリング調査、指標の作成、情報収集・分析等を行う。

諸謝金
0百万円

職員旅費
1百万円

委員等旅費
0百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株) 価値総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査研究	6			
計		6	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)価値総合研究所	現状分析調査、ヒアリング調査、指標の作成等を行う。		6 随意契約 (企画競争・ 2者応募)	99.8%
2	(株)三菱総合研究所	情報収集・分析等を行う。		6 随意契約 (企画競争・ 3者応募)	99.9%
3	NKSJリスクマネジメント(株)	情報収集・分析等を行う。		4 随意契約 (企画競争・ 1者応募)	96.1%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					